

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 太田小学校
作成日	令和5年3月11日

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子どもを育成する。

2 学校自己評価についてのご意見

	豊かな心の育成	確かな学力の向上	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 朝の挨拶をした人数の割合（95%） 掃除を頑張った人数の割合（95%） 読書が好きである人数の割合（80%） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で自分の考えを伝えることができた人数の割合（80%） 週1回以上、自主的に家庭学習を行う人数の割合（80%） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で運動している人数の割合（80%） 引き渡し訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよくわかると答える人数の割合（90%） 各学年で地域との交流を授業の中に入れるようにする。
意見重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> 良いと思います。 良好な人間関係の構築、体を動かすことを惜しまない、幅広い知識や知恵を得る、この三つは人格の形成には欠かせないことだと思います。よい重点目標です。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は一人ひとりと対話を心掛けてくださっていると思います。 全学年の通常の授業を見せてもらった時の印象はとてよかったです。以前と比べて、クラスの一体感であったり皆で集中して取り組んでいるといったことがより感じられました。発表や質問も良い形でできていた場面も見ることができました。勿論、個人差はあるでしょうけど、ああいった良い雰囲気の授業を積み重ねていくことができれば、おとなしい子どもも一歩も二歩も前に進められることに繋がるのではと思います。 先生から一方通行の授業にならず、特に低学年には「なぜ?」と思った事に、応えてあげることが勉強に興味を持たせるカギだと考えています。「対話的活動」大変良いと思います。 ここ数年、授業参観させていただく度、子ども達の「学ぶ意欲の向上」に感心させられました。これは教職員の確かな取り組みがあったからだだと思います。「学力学習状況調査」や「学習到達度調査」にも出ていると思います。この時期での1年生の国語科の授業は「子どもたちの学びの確かさ」を伺いさせてもらいました。「お子さんが1年間を通してこんなに成長しましたよ。」との先生のメッセージを込められていたことと思います。このことは、保護者、地域への信頼を得ることにもつながるものと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 良いと思います。 保健指導の充実で、当日の給食のメニューや栄養価等の説明をして食物に興味を持たせることもよいのでは? 	<ul style="list-style-type: none"> 良いと思います。 そのとおりだと思います。地域資源活用もどんどん取り組めば良いと思います。 太田小の様子は児童がない家庭でも情報誌から理解できます。
意見取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> 玄関柱にあいさつマスター表彰など、やる気を引き出す工夫をされていると思います。毎月のお便りで学校の様子も伝えてくださっている。 校内がいつもきれいで輝いています。きっと児童も先生も気持ちよく授業に取り組んでいることが窺えます。 挨拶ひとつでその人の人柄が分かると言われていますが、正面を向いて笑顔であいさつ心を和ませてくれる子ども達の輪が広がりますことを期待しています。 	<p>自主学習に関しては、能力に差がある状態なのはと感じます。難しい取組。太田タイムは始まったころより活度が落ちているが、続けてほしいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が、声かけの上さらに忙しい中さらに外遊びに入ってくさっている。有難く思っています。 健やかな体の育成は一生自分の宝物になるので、低学年でその意識を持たせることが大切だと思います。大人になった時の成人病予防にもつながることなので併せて生活習慣や偏食についても取り入れた取り組みはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年のゲストティーチャアの活動の多さがとてもよかったです。 この3年間、学校や地域の行事が中止になり、少し疎遠になりつつあるのではないかと思います。新年度からは、対策を講じながら復活させることが必要だと考えます。 具体的な接触が少ないため個人的には情報不足になるが会議等により理解できる。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> パーセンテージを見ても良い結果が出ているが、掃除やあいさつはこの行動より学校全体の雰囲気によるものが多い。よい雰囲気を保つてくださっていると感じます。 掃除を頑張った人数の割合低学年が99%を超え、高学年も始業に近く、よく頑張っています。読書は低。高学年ともに指標を上回っているが、保護者から児童を見ると54.2%とやや低いのがどうして? (少し残念…) 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えお伝えられる」参観に於いても年々子供達の声か聞き取りにくくなってきている(マスク・声量)なか、先生方との信頼関係があるからこそ意思疎通がよくできていると感じます。 児童に対するアンケート4で低学年では83.6%高学年では91.6%が毎日の勉強が分かることと答え、保護者に対するアンケート9で90.8%が学習内容が分かり学力が身につくという回答を得ている。これは正に先生方のご努力の賜物です。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ではなかなかできない学校やクラスメイトとの集団行動のおもしろさを子供達が感じている結果と思います。 低学年が休憩時間に外でよく遊ぶと答えたと割合が83%と、指標を上回っていることはたいへん望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 参観も徐々に増えてきてはいるが、今ひとつクラス内の様子が分からない状況が続く中「よく分かる」90%、先生方が忙しい中、さまざまな発信して下さっているのが出た結果である。 保護者へのアンケート7の回答で学校に対して、役割を果たし連携・協力している割合が81.5%で少し低く感じた。あまりそう思わない保護者は11.4%あり、もう少し学校に視線をあててもらえるPTA活動が大切だと考えます。(コロナの関係で低いのかも…) 地域の方を先生に授業設定され有意義であります。
改善の次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 今年は学級の朝の挨拶運動が少なかった?無かった?以前はもっと多かったように思います。児童会さんに頼りっぱなしならもっと広げるのもよいかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な工夫をして下さっていると感じますが、自主学習ノートについては、例えば読書好きな子は読書→ノートへの記載ページ数につながるが難しい。運動好きの子も同じ。そういった子たちや自主勉を苦手とする子たちへのより具体的な手引きがないと格差が出てしまっている。 特に意見はありませんが、来年もこの検証結果を維持できることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間にこそ、仲間外れやいじめに近い現象が起きている、先生方が席を外して次の準備や少しの休憩をされている間の見えにくいトラブルが気にかかる。 縄を使っている遊ぶ子ども達が意外に少なく、「大なわや長なわ」・「マラソン」などを通して、体力向上や目標に向かっての取り組みは達成感・充実感あるいはクラスの一体感を味わえるのに…と思いがく見させてもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々や家族以外の大人と接し誉めてもらったり、マナーを学ぶことは大きな成長になるので、外部との接触は続けていって欲しいです。 コロナ禍でもあり交流は少なかったが、今後さらに活性化が図られると思う。 学校の情報版神や地域の人材活用と比して、地域の自然・文化を生かす具体的な取組が見えなかった感がありました。

3 その他のご意見

・いつも様々な工夫を有難うございます。来年度も子供達をよろしくお願致します。

・スクールプランの「保護者・地域の願い」で「楽しく学校生活が送れるように相手の気持ち分かる子どもになってほしい」とありますが、社会人として生活に…と置きかえて指導をお願いしたい。日常の先生が自己評価をするとき、達成感・満足度を考えると本当にご苦労様です。

・教育機器を使って授業を多く見させてもらいましたが、今後ますます教育活動等の中に機器の効果的な活用が求められることと思いますが、「確かな学力の向上」のためにもどのように生かしていくのでしょうか。